

施策番号	0903		
施策名	国際MICE都市～国際会議，企業研修旅行，イベント等による国際集客都市～への飛躍		
概要	MICEの誘致・振興は，京都ブランド・都市格の向上，市民生活の活性化，経済効果など，社会的及び経済的両面において京都市の都市活力を支え，向上させるものであるとともに，京都観光の質の向上に寄与することが期待され，京都市の都市戦略として全市を挙げてMICEの誘致・振興に取り組む。		
担当局・部室	産業観光局・観光部	共管局・部室	
上位政策	9 観光		
施策に関係する主な分野別計画等	京都市MICE戦略		

施策の評価

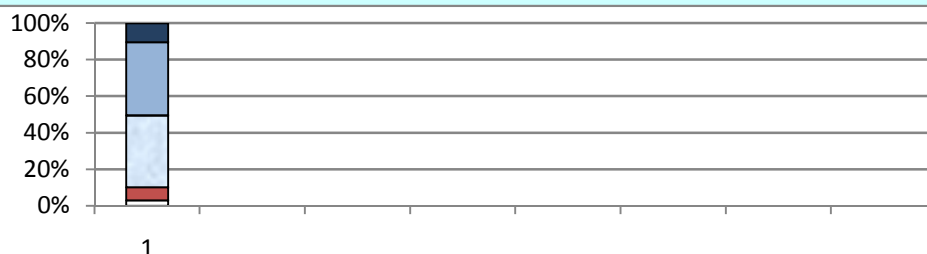
1 客観指標評価

指標名		年度	年度	23年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	コンベンション開催件数(件)	-	-	164	157	183	85.8%	a	1.00
2	コンベンション参加者数(人)	-	-	107,347	108,619	107,347	101.2%	a	1.00
3	コンベンション海外参加者数(人)	-	-	12,941	16,246	16,145	100.6%	a	1.00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価								a	

2 市民生活実感評価

*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		23年度回答					有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1	京都は，国際会議などが盛んに開かれるMICE（企業のミーティング，企業研修旅行，国際会議，イベントなどの総称）都市になってきている。	56	218	214	39	16	543	b
		10.3%	40.1%	39.4%	7.2%	2.9%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
市民生活実感調査総合評価								b



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	b	
(重み付けの理由) 観光客だけでなく市民にとっても満足度の高い観光振興を図ることを目的としており、市民生活実感評価を重視して評価することが妥当であると考えため。						年度
(原因分析) ・客観指標評価は、都市間競争の激化により、コンベンション開催件数は減少したものの、総参加者数や海外参加者数が前回数値を上回ったため、a評価となった。 ・市民生活実感評価は、京都の国際MICE都市としてのイメージが市民の間にできつつあるため、b評価になったものと考えられる。 ・このため、総合評価はB評価となった。						年度

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	コンベンション等MICE推進事業	81,187	96,133	良い	産業観光局
2	2010年日本APEC財務大臣会合開催支援事業	31,481	—	—	産業観光局
3	上海国際博覧会出展事業	23,883	—	かなり良い	産業観光局
4	京都市勧業館(みやこめっせ)	67,047	60,961	良い	産業観光局
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・平成22年3月に策定した「京都市MICE戦略」に基づき、受入環境の整備や積極的な誘致施策の推進、市民参加によるMICEの振興、戦略推進のための体制強化などにより、コンベンションをはじめとしたMICEの誘致活動を進めていく。
--

施策名	0903	国際MICE都市～国際会議，企業研修旅行，イベント等による国際集客都市～への飛躍				
指標名	コンベンション開催件数（件）					
担当課	観光振興課		連絡先	2 2 2－4 1 3 3		
1 指標の説明						
1年間に京都市域内で開催された会議で，日本を含め3箇国以上から総勢50名以上の参加のあった国際会議の開催件数						
2 指標の意味						
経済，文化，国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標			3 算出方法・出典等			
			出典：京都文化交流コンベンションビューロー「京都で開催の国際会議」，日本政府観光局「国際会議統計」			
4 数値						
	前回数値 21年度	最新数値 22年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	164	157	7件減	183	過去5年間の最高値	85.8%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満			6 基準説明			
			当該指標については，民間部門の寄与度が比較的高いことや景気動向にも影響を受けるため，80%以上をa，以下20%刻みで基準を設定した。			
7 評価結果						
						23
	-	-				a

指標名	コンベンション参加者数（人）					
担当課	観光振興課		連絡先	2 2 2－4 1 3 3		
1 指標の説明						
1年間に京都市域内で開催された会議で，日本を含め3箇国以上から総勢50名以上の参加のあった国際会議に参加した人数						
2 指標の意味						
経済，文化，国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標			3 算出方法・出典等			
			出典：京都文化交流コンベンションビューロー「京都で開催の国際会議」，日本政府観光局「国際会議統計」			
4 数値						
	前回数値 21年度	最新数値 22年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	107,347	108,619	1,272人増	107,347	過去5年間の最高値	101.2%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新の数値が a：過去5年間の最高値以上 b：過去5年間の上中間値（最高値と平均値の中間値）以上～最高値未満 c：過去5年間の平均値以上～上中間値未満 d：過去5年間の下中間値（平均値と最低値の中間値）以上～平均値未満 e：過去5年間の下中間値未満			6 基準説明			
			各年度の具体的な数値目標の設定が困難であるため，過去5年間の数値の推移で評価する。 最高値 107,347人（平成21年） 平均値 75,496人 最低値 58,175人（平成17年）			
7 評価結果						
						23
	-	-				a

施策名	0903	国際MICE都市～国際会議，企業研修旅行，イベント等による国際集客都市～への飛躍				
指標名	コンベンション海外参加者数（人）					
担当課	観光振興課		連絡先	2 2 2－4 1 3 3		
1 指標の説明						
1年間に京都市域内で開催された会議で日本を含め3箇国以上から総勢50名以上の参加のあった国際会議への海外参加者数						
2 指標の意味						
経済，文化，国際交流等の様々な分野への波及効果を伴う国際MICE都市の実現に向けた進捗状況を示す指標			3 算出方法・出典等			
			出典：京都文化交流コンベンションビューロー「京都で開催の国際会議」，日本政府観光局「国際会議統計」			
4 数値						
	前回数値 21年度	最新数値 22年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	12,941	16,246	3,305人増	16,145	過去5年間の最高値	100.6%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新の数値が a：過去5年間の最高値以上 b：過去5年間の上中間値（最高値と平均値の中間値）以上～最高値未満 c：過去5年間の平均値以上～上中間値未満 d：過去5年間の下中間値（平均値と最低値の中間値）以上～平均値未満 e：過去5年間の下中間値未満			6 基準説明			
			各年度の具体的な数値目標の設定が困難であるため，過去5年間の数値の推移で評価する。 最高値 16,145人（平成19年） 平均値 13,448人 最低値 10,475人（平成17年）			
7 評価結果						
						23
	-	-				a